

第7回 SPring-8 グリーンサステイナブルケミストリー研究会
第33回 SPring-8 先端利用技術ワークショップ
金属ナノ粒子触媒開発の最前線 II ー構造と機能の制御ー

日 時：平成30年12月7日（金） 13時00分～19時00分

会 場：AP新橋 A-PLACE 新橋駅前

〒105-0004 東京都港区新橋1-12-9

主 催：（公財）高輝度光科学研究センター（JASRI）

SPring-8 利用推進協議会

協 賛：（一社）近畿化学協会、（一社）触媒学会、（公社）日本セラミックス協会、
（公社）日本化学会、光ビームプラットフォーム、中性子産業利用推進協議会、
日本放射光学会、日本 XAFS 研究会 （予定）

趣 旨：

本研究会は、「グリーンサステイナブルケミストリー（GSC）」を環境にやさしく持続成長可能な循環型社会を実現するための化学技術と定義し、環境負荷が小さく高効率な次世代触媒など GSC に関わる物質・材料の構造と機能の原子・分子レベルにおける科学的解明を行い、それに基づいて GSC 分野の着実な進展を支援することを目的としています。

今回の研究会では主に金属ナノ粒子触媒に注目し、メソ多孔質材料を利用した新規クラスター触媒、金属ナノ粒子の構造と機能との相関、および放射光を利用した反応中の触媒構造解析に関する最先端の研究について紹介します。

プログラム概要

13:00～13:05 開会挨拶

研究会主査 水垣 共雄（大阪大学）

座長 水垣 共雄（大阪大学）

13:05～14:05 ナノ空間を利用する光触媒の設計と応用

山下 弘巳（大阪大学）

14:05～14:20 休憩（コーヒーブレイク）

14:20～14:55 3次元 XAFS イメージングによる固体触媒の可視化研究
唯 美津木 (名古屋大学)

14:55～15:30 カルボン酸水素化触媒の反応雰囲気下における構造解析
中谷 哲 (株式会社ダイセル)

15:30～15:45 休憩 (コーヒーブレイク)

座長 本間 徹生 (JASRI)
15:45～16:20 DXAFS 法による Sr-Fe 系複合酸化物の酸素吸蔵・放出機構解析
細川 三郎 (京都大学)

16:20～16:55 メソポーラス有機シリカ上での金属錯体の固定化と触媒への応用
原 賢二 (東京工科大学)

16:55～17:00 閉会挨拶
山川 晃 (JASRI)

17:30～19:00 技術交流会 (会費¥1,000 の予定 当日受付でお支払い下さい。)
SPring-8 での課題申請についての個別相談、有用な情報交換の場などとしてご活用下さい。

定員 : 70 名 (無料 定員になり次第締め切ります。)

申込み方法 : WEB ページから申込み

http://www.jasri.jp/iuss/research_activity/2018/20181207.html

申込み締切 : 11 月 30 日 (金) (予定)

事務担当 : SPring-8 利用推進協議会研究会事務局

(公財) 高輝度光科学研究センター 利用推進部 普及情報課 濱本

問合せ先 : e-mail : suishin@spring8.or.jp FAX : 0791-58-2786

(公財) 高輝度光科学研究センター

産業利用推進室 本間 徹生 (honma@spring8.or.jp)